

みずほCustomer Desk Report 2022/01/17号 (As of 2022/01/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.10
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	114.12	1.1456	130.70	1.3710	0.7280
SYD-NY High	114.27	1.1483	130.80	1.3742	0.7293
SYD-NY Low	113.48	1.1399	129.79	1.3654	0.7199
NY 5:00 PM	114.18	1.1417	130.41	1.3685	0.7218

NY DOW	35,911.81	▲ 201.81	日本2年債	-0.0700	1.00bp
NASDAQ	14,893.75	86.94	日本10年債	0.1400	1.00bp
S&P	4,662.85	3.82	米国2年債	0.9679	7.50bp
日経平均	28,124.28	▲ 364.85	米国5年債	1.5586	8.82bp
TOPIX	1,977.66	▲ 27.92	米国10年債	1.7921	9.24bp
シカゴ日経先物	28,330.00	25.00	独10年債	-0.0515	3.75bp
ロンドンFT	7,542.95	▲ 20.90	英10年債	1.1485	4.45bp
DAX	15,883.24	▲ 148.35	豪10年債	1.8460	0.00bp
ハンセン指数	24,383.32	▲ 46.45	USDJPY 1M Vol	6.25	0.24%
上海総合	3,521.26	▲ 34.00	USDJPY 3M Vol	6.50	0.23%
NY金	1,816.50	▲ 4.90	USDJPY 6M Vol	6.63	0.05%
WTI	83.82	1.70	USDJPY 1M 25RR	-0.76	Yen Call Over
CRB指数	245.432	2.53	EURJPY 3M Vol	6.82	0.17%
ドルインデックス	95.17	0.38	EURJPY 6M Vol	7.08	0.11%

東京	東京時間のドル円は114.12レベルでオープン。日銀の金融政策に関する報道により、翌週の金融政策決定会合の内容を警戒して円買いが優勢。前日の海外時間の流れを引き継いだ株式市場の軟調推移等を背景としたリスク回避の動きも相まって、一時113.64まで下落。その後も安値圏での推移が継続し、113.72レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、113.72レベルでオープンし、米長期金利の動きを眺めて、上昇。正午前に114円台を試すも午後に米12月小売売上高を抑えていることから上値が重くなり、日中高値の113.98を付けた後は円買いの動きが広がり、反落。結局113.69レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場で日銀がインフレ上昇を受け利上げを検討しているとのレポートが出たことから、円買いにドル円はデイトリーの一目の雲の上限が観測されていた113.64まで下落し、113.69レベルでNYオープン。朝方は注目の米12月小売売上高がオミクロンによる感染拡大とセール前倒しにより予想を下回り、前回分も下方修正され、ドル円は次のサポートと見られていた113.50を抜け113.48まで下落する。続いて発表された米12月鉱工業生産が予想を下回ったものの、前回分が上方修正され、この結果を受けたドル円の反応は限定的となる。その後は1月シガン大学消費者信頼感指数が先行景況感が低下したことからの予想を下回ったものの、インフレ期待が前回から上昇したことや、週末を控えた調整からドルの買い戻しが強まり113.87まで戻す。午後は米長期金利が上昇する中、ドル円もじり高で推移し114.27まで戻し、114.18レベルでクロスした。一方、海外市場で1.1483まで上昇したユーロドルは、ユーロ円の売りに連れ安となり1.1444レベルでNYオープン。朝方はやや買い戻される局面もあったが、週末を控えた調整から利益確定の売りが強まり、1.1399まで反落する。午後は、週末を控え1.1410付近での閑散な取引が続き、1.1417レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・小林

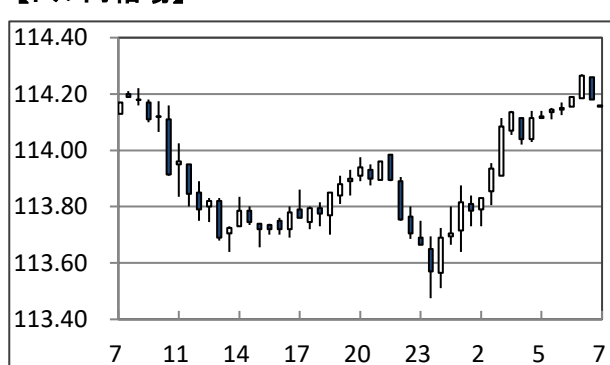
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月14日	11:58	中	貿易収支	12月 \$94.46b \$73.95b
	11:58	中	輸出(前月比/前年比)	12月 20.9%/19.5% 20%/27.8%
	22:30	米	小売売上高速報(前月比)	12月 -1.9% -0.1%
	23:15	米	鉱工業生産(前月比)	12月 -0.1% 0.2%
1月15日	00:00	米	ミシガン大学消費者マインド速報	1月 68.8 70

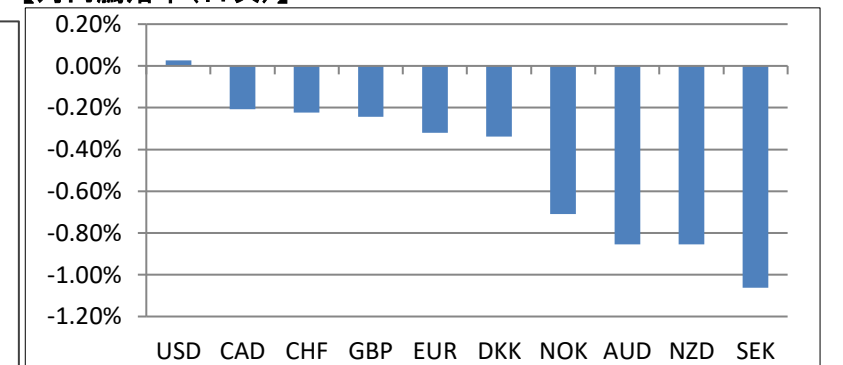
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月17日	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	12月 3.7% 3.8%
	11:00	中	GDP(前年比)	4Q 3.3% 4.9%
	11:00	中	小売売上高(前年比)	12月 3.8% 3.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.90-114.70	1.1380-1.1480	129.8-131.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日のドル円は下にいてこい。
東京時間は114.12でオープン。日銀の金融政策に関する報道や株式市場の軟調推移を背景に円買いが強まり、113円台に突入。米国時間に発表された米12月小売売上高が予想を下回ると一時113.48まで下落したものの、その後は米金利が上昇する中、ドルの買い戻しが強まり114円台を回復。結局オープンと同水準の114.18クローズした。
本日のドル円は底堅い推移を予想する。
前日の値動きから113円台半ばでの買い需要が相応に確認されており、下値は限定的か。またテクニカル的にも、日足での一目均衡表の雲の上限が意識されたこともドル円にとってはサポート材料になるだろう。